



2023年11月14日

各 位

会社名 株式会社グラッドキューブ
代表者名 代表取締役 CEO 金島 弘樹
(コード番号：9561 東証グロース)
問い合わせ先 専務取締役 CIRO 財部 友希
ir@glad-cube.com

2023年12月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年2月14日に公表した2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,486	百万円 345	百万円 345	百万円 224	円銭 27.63
今回修正予想（B）	1,500	120	110	50	6.13
増減額（B－A）	13	△225	△235	△174	－
増減率（％）	0.9	△65.2	△68.2	△77.8	－
（参考）前期実績 （2022年12月期）	1,480	461	455	297	39.13

2. 修正の理由

当社の事業領域であるインターネット広告市場におきましては、世界的なインフレの進行やエネルギー価格の高騰等の影響など景況の悪化を受け、一部既存クライアントにおいて広告費の削減による予算減やインハウス化による離反などが発生しました。2023年12月期第2四半期に発足したアウトバウンド部隊の活動により新規開拓の強化に努めたものの、顧客による予算減少等により本年下半年以降において想定以上に大きく、利益のマイナスを売上増加販売促進やコスト削減で補うことができず乖離が生じております。

SPAIA事業においては、シェア獲得重視にシフトし無料会員の獲得強化に向け資源を集中させたことにより無料会員は大幅に増加したものの、有料会員数は漸減する結果となりました。また、顧客満足度向上を目的としたシステム開発・サービス改善施策を行ったことや進行中の新規プロジェクトの人件費が先行しているなど、当初計画以上にコストが増加いたしました。

会社全体として、来期以降における売上の増加に向けた積極投資として、まず成長基盤の強化を目的とした積極採用を実施しておりますが、人口の減少や高齢化などにより労働力の供給が減少などの労働市場の変化により、人材の獲得が非常に厳しい状況となっております。このような状況に対処するべく、給与等の条件面引き上げや採用コストをかけたハイクラス人材の獲得を行ったことが要因となり、人件費及び採用費が当初計画に対して10.6%増加いたしました。

この人件費等の増加は、今後の収益を生み出す源泉になる人材の獲得のため重要な投資であると考えております。

つぎに、顧客基盤の拡大につながるM&Aを積極的に検討し、戦略的投資の機会を窺っております。そのような状況下、複数のM&A対象企業の調査を行ってきたことにより、一時的な費用としてデューディリジェンス費用等15百万円を計上いたしました。

このように来期以降を見据えた積極投資などの理由により、営業利益、経常利益、当期純利益、及び1株当たり当期純利益は当初予想値を下回る見込みであります。来期は今回のマイナス分以上を取り戻すべく取り組んでまいります。

なお、売上高においては、workhouse株式会社の一部事業の譲受により、当初予想値を上回る見込みであります。

今後の取り組みとして、好調であるSaaS事業では、新規顧客獲得体制の更なる強化、マーケティングソリューション事業とのクロスセル強化、生成AIを活用した更なるプロダクトの開発を行い、継続的な成長基盤を強化してまいります。マーケティングソリューション事業においては、人材の育成を進め新規開拓の更なる強化を行い、早期のリカバリーを図ってまいります。

SPAIA事業については、全体の会員数が12万人を超え、SPAIA競馬においても無料会員から有料会員への転換率は四半期平均21.9%と高く推移しております。この好調を維持しながら、引き続きシェア拡大の為、無料会員の獲得を進めてまいります。そして、システム開発・サービス改善施策の完了後には有料会員への転換に向けた施策を行い、有料会員数の増加を図ってまいりたいと思います。

2023年10月24日に譲受したworkhouse株式会社の一部事業による今期業績の影響においては軽微であるものの、来期以降からは当社の業績に大きく貢献していくものと見込んでおります。また、workhouse株式会社のリソースを活用し、DRAGONデータセンター構築、SaaS事業やマーケティングソリューション事業の売上促進、SPAIA事業のさらなる発展を実現させる考えであります。

(業績等の予想に関する注意事項)

上記の通期業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以上